さても日本のぐんせんハ大こんらんへいりしおりてはいハなかくして ふつかど
ぼうく舟の方にいさり手勢のはにも杖をつけしおりくいさせにも此へんの人
たいぜいおむらい手勢のたい長ともに日本の武よろしんと雅いこうさん
のあいだにてあいびてふたんけんろうきゆう福だんえんのたい長おのく
和陸にゑりのことにどうぞさんのあいをたたげ玉ひくのさんぶつとけんどやうき
ねよたいぶ弱ありこ弱のまのどふハぼうたんぜめの道さきにて行つけらるも
たさ弱いなほどもやうさどで山ぢのたたん兵いとやとして二人をせつ兵
そもそとのりぼうたんの山ぢてもてこゆくたのりれゐり舟りはいてぼうたんへ
いりしおいしへんハ山高くけんそほにて谷あいの一筋たちりかかりうたん
あいのありのまゝせりそもぼうたん人山あなりたひ岩石とつてゝ防げてたを
ふせぎしにちらんなきようて日本ぜい三手にてこれ二手ハてきの後
見うけ道さ山ぢとをこえせとど岩かどにそへつき道からてよぢりやうく
山のとくとのちのだるたたかまつてはし一そふへかてつるうとうちかけおいよせて
ないそうありてうあひ討死たりきうちにころすみし日本ぜいこときのこへと
なげせあやかり三ぼうたん人をことうちてひし ぼうたん人の首とうで
ぼう一もにて一せんにうちなるがをとこもどよろこびてのてはこうさんなり
ま大日本のあまほしけいよいよとはこさたなかるへり

日本人 討死六人 ておあい十一人　ぼうたん人 討死百七十五人 いけどり三百人

此女ハぼうたんせんそうのせつとらハれまいらせ
あさりいろよもいやしきものゝ
ひとこへこゝま来きまと
つけられぼうのことを此のさ
にあかしさ秋らどとさげらり
ぼんちうへつれ来り倉とたて
しておつるとてうらうせんちうそ
おくへさし今日にてようくしとおりく わんをとりせておへたびくよし

ぼうたんの小女
十三才 背丈五尺二寸